

数学演習

単位数	2	対象学年	2年	対象クラス	チャレンジAコース
使用教科書		副教材等	数研出版 ジュニア演習 数学I・A 受検編		

1. 学習の到達目標

数学I・Aの各単元について、演習問題を解くことにより基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1年次に既に履修した数学I・Aの各単元の問題を基礎例題で確認し、練習問題で反復練習し理解度を自己診断させる。基本的に自習形式で行う。自分から進んで問題を解く姿勢を育てる。しっかり理解して、確実性を増すことにより基礎学力固めを行い、進学に対応できるように自信をつける。

3. 学習上のメッセージ

数学は色々な学問のもとになる大切な教科です。数学演習では2次関数や三角比、図形など数学Iの問題を実際に解くことにより、その内容をしっかり理解していくことは将来の進路において非常に重要です。分からない所を放置したり、演習問題を解くことを怠ったりせず積極的に取り組み、自分の力で解ける喜び、達成感を持って下さい。自調自考が一番大切です。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	数学のよさを認識し数学的な考え方に基づいて判断しようとする。
思考・判断	数学的に考察し表現することを通して数学的な見方や考え方を身につけている。
技能・表現	数学的に表現・処理する仕方や方法の技能を身につけている。
知識・理解	基本的な原理や法則などを体系的に理解し基礎的な知識を身につけている。

- ・年間5回の定期試験。
- ・授業における学習態度，出席状況，問題集，ノートなどの提出物を評価に反映させる。
- ・定期試験，小テスト，授業における解答力を通して理解度を把握し，補充等で学力向を図り，評価に反映させる。

5. 学習内容と評価について

単元名		使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
数学 I	数と式 2次関数	式の展開・因数分解 根号を含む式の計算 1次不等式 2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 グラフと2次方程式 グラフと2次不等式	数学における基本的な概念や原理・法則を系統的に理解させ、演習問題を自分の力で解くことにより基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学のよさを認識できるようにするとともにそれらを的確に活用する態度を養う。
数学 I・A	図形の性質 図形の計量	三角形の性質 円の性質 空間図形 三角比 正弦定理・余弦定理 図形の計量	図形の性質や三角比の概念について理解し、定理を用いて値を求める事やその有用性を認識するとともに、それらの事象の考察に活用できるようにする。
数学 A	集合と命題 場合の数と確率	集合と命題 場合の数、順列 組合せ 確率	順列、組合せの意味やその基本的な性質について理解し、確率を用いた計算の考え方の有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
数学 I・A	整数の性質 データの分析	整数の性質 いろいろな方程式の整数解 データの分析	整数、図形の性質の基本的な考え方を理解するとともにそれらを事象の考察に活用できるようにする。

